



中丹高次脳機能障害者と家族の会

## “さくらの会”便り

No99号 2016.5.31

|                    |
|--------------------|
| 発行責任者<br>会長 粟野勝彦   |
| 編集責任者<br>世話役代表 上原栄 |
| Tel.0773-22-7859   |

—リラックスできて、はげまし合うところ、勇気を与えられるところ—

# 第12回定期総会を開催 粟野会長を再選する

さくらの会 第12回定期総会は、4月24日綾部市保健福祉センターで開かれました。参加者は24名。活動方針では、グループ訓練の成功をめざすことを、財政方針では、旅費規程を見直しました。

また、グループ訓練に特化した会計と、脳外傷・高次脳機能障害リハビリテーション京都実行委員会担当を規約として設けました。

最後に、「高次脳機能障害に関する京都府北部における支援センターの設置と支援コーディネーターの配置を求める決議」を採択し総会を終えました。決議書は京都府知事、綾部市長、福知山市長、舞鶴市長宛てに要望書を提出します。

午後の交流会は、ハーモニカとギター演奏の「オールディーズ」と一緒に歌い、さくらの会会員の交流会を行いました。



### 参加者の声

- ▼参加できて良かった。
- ▼嬉しかった。・いろんな人の声が聴けて良かった。
- ▼歌を歌って、楽しかった。
- ▼家族の頑張りが大変です。良く分かれます。
- ▼気楽に話が出来るところでないと出ていけない。あり難いです。



## 新役員です

- 会長 粟野勝彦
- 副会長 田中 明
- 会計 富永幸雄
- 会計（グループ訓練） 上原保子

- 脳外傷・高次脳機能障害リハビリテーション 京都実行委員会 担当

高橋 宏（なお、現在高橋さんは京都実行委員会の副委員長の役職）

- 世話役代表 上原 栄



# 要望書提出

さくらの会は、28年4月28日京都府知事、綾部市長、福知山市長、舞鶴市長宛てに大会決議を添付し、「中丹高次脳機能障害に関する京都府北部における支援センターの配置について」の要望書を提出しました。



# グループ訓練始まる 11名が参加 福知山市民病院で

さくらの会のグループ訓練が4月17日午後1時から市立福知山市民病院第2会議室で始まりました。

訓練の参加者は11名。市域別では、福知山市6名、綾部市3名、舞鶴市1名、丹後地域1名でした。

**田中副会長から** 「若者と家族の会」の大坂の先輩が「私の先に道はない。私の後に道ができる」と話されたことを振り返りながら、福知山でグループ訓練ができる事をうれしく思う。訓練がさらに発展し、北部でのリハビリテーションの設置と専門職の配置へと続くよう皆様の支援をお願いしますと挨拶がありました。

続いて、**本多先生から** 訓練の説明、専門職スタッフの自己紹介の後、面談・評価に入りました。

面談・評価は、4月17日で終えることが出来なくて、5月は17日と29日の追加となりました。

今後の訓練は、7月3日からは午後半日の訓練が10月9日まで続きます。



そして、12月11日と18日の一日の面談・評価が最終になります。

本多先生清水先生をはじめとして、小浜の「ふらむはあとリハビリねっと」から3名、京都ルネス病院から1名、綾部市民病院から1名と多くの専門職スタッフの応援を得ることが出来ました。また、支援スタッフとしてあやべ生活支援センター「えがお」から1名、福知山市障害者支援センター「青空」から1名、さくらの会から6名と多くの皆さんにお世話になりました。



## 支援スタッフ等のお願い

支援スタッフについては、次の支援をお願いしています。

- ①参加者・家族の対応
- ②当事者の見守り
- ③受付・会場設営・片付け・先生へのお茶対応 期間中2回～3回程度の応援をよろしくお願いします。